

RX Japan株式会社
アメリカン・モーション・ピクチャ・アソシエーション・オブ・ジャパン
株式会社IMAGICA GROUP
一般社団法人映画産業団体連合会
一般社団法人衛星放送協会
公益社団法人映像文化製作者連盟
株式会社ADKエモーションズ
エイバックス株式会社
株式会社エスピーオー
株式会社NHKエンタープライズ
大蔵映画株式会社
一般社団法人外国映画輸入配給協会
株式会社KADOKAWA
株式会社カプコン
株式会社キネマ旬報社
株式会社キノフィルムズ
ギャガ株式会社
株式会社京映アーツ
キングレコード株式会社
株式会社クオラス
株式会社講談社
株式会社コーエーテクモゲームス
株式会社コナミデジタルエンタテインメント
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
埼玉県 彩の国ビジュアルプラザ
株式会社サンリオ
一般財団法人出版文化産業振興財団
松竹株式会社
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
株式会社STUDIO4℃
一般財団法人セガサミー文化芸術財団
全国興行生活衛生同業組合連合会
一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
ソニーPCL株式会社
株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
株式会社第一興商
高津装飾美術株式会社

有限会社ティーアイ・コムネット
株式会社TBSテレビ
株式会社ティーワイリミテッド
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
株式会社デジタルSKIPステーション
一般財団法人デジタル政策財団
株式会社手塚プロダクション
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社電通
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
東映ラボ・テック株式会社
東宝株式会社
学校法人東放学園 東放学園専門学校
東宝東和株式会社
株式会社東北新社
株式会社トーセ
株式会社トーハン
株式会社ドリーミュージック
株式会社ドリコム
中日本興業株式会社
名古屋テレビ放送株式会社
日活株式会社
株式会社日経BP
日本アカデミー賞協会
日本アニメーション株式会社
協同組合日本映画製作者協会
一般社団法人日本映画製作者連盟
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
一般社団法人日本映像ソフト協会
日本映像翻訳アカデミー株式会社
一般社団法人日本音楽事業者協会
一般社団法人日本音楽制作者連盟
日本コロムビア株式会社
日本テレビ放送網株式会社
一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本レコード協会

株式会社博報堂
株式会社バップ
株式会社バンダイナムコフィルムワークス
ぴあ株式会社
株式会社フジテレビジョン
特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション
株式会社HOKUETSU PLANETS
株式会社ポケモン
株式会社ポニーキャニオン
株式会社ポリゴン・ピクチュアズ
株式会社ホリプロ
武蔵野興業株式会社
ユニバーサルミュージック合同会社
吉本興業ホールディングス株式会社
讀賣テレビ放送株式会社
一般社団法人ライセンス/グインターナショナルジャパン
株式会社ラバン
琉球放送株式会社
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
株式会社WOWOW

【賛助会員】

株式会社きんでん東京本社
スカパーJSAT株式会社
高砂熟学工業株式会社
株式会社みずほ銀行

合計:102社・団体

ANNUAL REPORT 2024

年間活動報告書
2024.4.1-2025.3.31



コンテンツの未来へ、 つなげる、ひろげる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

VIPOの 主な事業テーマ

ヴィーボ
VIPOは日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立されたNPO法人です。
〈人材育成〉〈海外展開・市場開拓〉の支援を中心に、様々な活動を通して、業界全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。

人材育成

海外展開
市場開拓

マンガ

アニメ

放送

映画

音楽

ゲーム

キャラクター

出版

ご挨拶

お陰様で、VIPOは、2004年12月6日に設立されてから、このたび、20周年をむかえることができました。

VIPOは映画、アニメ、ゲーム、音楽、放送、出版、キャラクターなど、多岐にわたるコンテンツジャンルの業界団体や企業さまを会員として構成される、国内で唯一の団体であり、“コンテンツの未来へ、つなげる、ひろげる”をミッションにコンテンツのジャンル間の垣根を低くし、新たなコラボレーションが生まれるような活動と業界の人材育成や海外展開への支援を積極的に展開してまいりました。

コンテンツ業界はこの20年間、目覚ましい変革と成長を遂げてまいりました。デジタル技術の進化は、コンテンツの制作、流通、そして消費のあり方を根底から覆し、新たな表現や体験が次々と生まれてきました。同時に、私たちは幾多の困難にも直面してまいりました。東日本大震災、そして記憶に新しい新型コロナウィルス感染症のパンデミックなどの出来事は、社会全体に大きな影響を与え、コンテンツ業界の事業環境にも大きな変化をもたらしました。

今、日本のコンテンツは独自の魅力と創造性で注目を集めています。アニメ、マンガ、ゲームといった分野はもとより、音楽、映画、ドラマ、そして伝統文化に至るまで、日本の多様な魅力が国境を越えて多くの人々に愛され、日本文化を世界に広げる大きな力となっています。2024年、政府より公開された「新たなクールジャパン戦略」では、日本のコンテンツ産業が日本経済の成長に不可欠な中核産業の一つとして、明確に位置付けられています。政府は世界市場でのプレゼンスを強化するために、日本発のコンテンツの海外市場規模を2022年時の4.7兆円から2033年までに20兆円へと、約4倍に拡大することを目標とし、また中間目標として、2028年までに10兆円の達成を目指すと発表しました。VIPOは海外展開を担う人材の育成や、海外市場のニーズに対応した製作支援など、各省庁等からの補助金事業や受託事業と自主事業などの運営を通じて、官民一体となって、この目標の実現に取り組んでいます。

その中でVIPOの2024年度の成果をご報告いたしますと、カンヌ国際映画祭(2024)において、山中瑠子監督の『ナミビアの砂漠』(文化庁委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト2019」に参加／経済産業省補助事業:令和5年度補正「JLOX+」(海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援)など)が「監督週間」に正式出品され、女性監督として史上最年少となる国際映画批評家連盟賞を受賞しました。またヴェネツィア国際映画祭(2024)では、空 音央監督の『HAPPYEND』(文化庁 2020年度「日本映画海外発信事業」(日本映画海外展開強化事業)短期実践研修参加／経済産業省補助事業:令和元年度補正「J-LOD」(海外向けコンテンツ制作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援)脚本、企画開発)がオリゾンティ・コンペティション部門でワールドプレミア上映されるなど、目覚ましい活躍を遂げています。

今後も、クリエイターの皆様の情熱と才能を世界につなぎ、世界市場に向けた新たな価値創造を支援していく所存です。ひきつづき、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

事業の成果 ※2024年度の代表例

第81回ヴェネツィア国際映画祭 オリゾンティ・コンペティション部門選出 『HAPPYEND』

- 2023 「VIPO Film Lab」(First Cut Lab Japan) 参加(空 音央監督ほか)
- 2020(文) 「日本映画海外発信事業」(日本映画海外展開強化事業) 短期実践研修参加(空 音央監督)
- 2019(経) 「J-LOD」(海外向けコンテンツ制作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援) 脚本、企画開発



空 音央監督

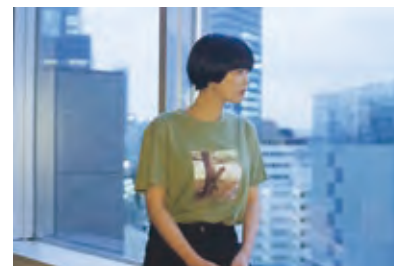


© 2024 Music Research Club LLC

事業の成果 ※2024年度の代表例

第77回カンヌ国際映画祭 監督週間 正式出品 国際映画批評家連盟賞受賞 『ナミビアの砂漠』

- (2024 「カンヌ監督週間 in Tokio 2024」にて上映)
- 2023(経) 「JLOX+」(海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援) 監督ほかの渡航費用支援
- 2019(文) 「ndjc」製作実地研修参加(山中瑠子監督)



山中瑠子監督



©2024「ナミビアの砂漠」製作委員会

VIPO 20 年の歩み

海外展開・市場開拓

- | | | |
|--|--|---|
| <p>2024 2024(経) 「クリエイター・事業者支援事業費補助金(クリエイター・事業者海外展開促進)」(JLOX+) (p.16)</p> <p>2024(文) 「海賊版対策事業(日越著作権協力事業)」(p.25)</p> <p>2024(芸) 「舞台芸術等総合支援事業」(全国キャラバン) (p.25)</p> <p>2023(経) 「我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業費補助金(コンテンツ産業の海外展開等支援)」(JLOX+) (p.16)</p> <p>2023(経) 「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金(映像制作等支援)」(JLOX)</p> <p>2023 「カンヌ監督週間 in TOKIO」(p.24)</p> <p>2023(文) インド政府主催「G20文化プロジェクト」</p> <p>2022(文) 「日本書籍翻訳・普及事業」(p.19)</p> <p>2022(芸) 「統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業」(アートキャラバン2)</p> <p>2022(芸) 「文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業」(キャラバン)</p> <p>2022(文) 「海賊版対策事業」(p.25)</p> <p>2021(経) 「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金」(J-LOD)</p> <p>2021(経) 「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(三次補正)」(J-LODlive2)</p> <p>2021(文) コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業「ARTS for the future!2」／「統括団体によるアートキャラバン事業」</p> <p>2020 海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」開設(p.28)</p> <p>2020(文) 「日本映画海外発信事業」(日本映画海外展開強化事業)</p> <p>2020(文) 「ARTS for the future!」(コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)</p> <p>2020(経) 「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金」(J-LODlive)</p> <p>2020 2020(経) 「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金」(J-LOD)</p> | <p>2019(経) 「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金」(J-LOD)</p> <p>2018(経) 「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金」(J-LOD)</p> <p>2018(文) 「メディア芸術連携促進事業 連携共同事業」</p> <p>2018(文) 「アジアにおける日本映画特集上映事業」</p> <p>2018(文) 「メディア芸術海外展開事業」</p> <p>2018(経) 「コンテンツ産業新展開強化事業」(コンテンツ関連ビジネスマッチング事業)</p> <p>2017(経) 「先進コンテンツ技術による地域活性化促進事業費補助金」</p> <p>2017(東) 「コンテンツ活用促進事業」(p.26)</p> <p>2017(経) 「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業費補助金」</p> <p>2016(経) 「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金」(J-LOP4)</p> <p>2015(経) 「地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業費補助金」(JLOP)</p> <p>2014(経) 「地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業費補助金」(J-LOP+)</p> <p>2012 「テレビ番組の海外販売ハンドブック」発行</p> <p>2012 経済産業省・総務省の補助を受け、基金を造成し(総)(経) 「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援助成金」(J-LOP)</p> <p>2012 日本コンテンツファンの外国人留学生組織「コ・フェスタ アンバサダー」</p> <p>2011(総) 「放送番組の海外展開調査事業」</p> <p>2007(経) 「JAPAN国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)」(p.22)</p> <p>2005(文) 「アジアにおける日本映画上映会事業」等</p> | <p>2019</p> <p>J-LOD</p> <p>JLOX+</p> <p>JLOX</p> <p>Camme's</p> <p>Japanese Publishing Promotion Project</p> <p>Japan Book Bank</p> <p>AFF</p> <p>J-LODlive</p> <p>J-LOP</p> <p>CoFesta</p> |
|--|--|---|

人材育成

- | | |
|---|--|
| <p>2024 2024(芸) 文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等育成プログラム」内の「滞在型企画開発」(p.15)</p> <p>2021 「VIPO Film Lab」(p.11)</p> <p>2020 2021(経) 「コンテンツ海外展開促進事業」(映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査)</p> <p>2018(文) 「映画スタッフ育成事業」(p.9)</p> <p>2015 「VIPOアカデミー」(p.13)</p> <p>2013(文) 「ASEAN諸国に対するポップカルチャー分野の専門家等派遣事業」</p> <p>2009(京) 「京都映画・映像企画市」(p.10)</p> <p>2009 「シナリオアナリスト養成セミナー」</p> <p>2006(文) 「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」(p.7)</p> <p>2006 「AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業」(p.10)</p> <p>2005 2005(経) 「コンテンツ人材育成総合プログラム」</p> | <p>File Frontier</p> <p>VIPO Film Lab</p> <p>文化庁委託事業 Film Staff Internship Project</p> <p>映画スタッフ育成プロジェクト</p> <p>VIPO ACADEMY</p> <p>京都映画企画市</p> <p>ndJC</p> |
|---|--|

その他

- 2022(内) 「アフターコロナに向けた外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査」
- 2022(内) 「デジタル時代に向けた大型外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査」
- 2020(文) 「文化芸術収益力強化事業」
- 2020(N) 「Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援金」事務局運営
- 2019(芸) 「フランスにおける映画振興に対する助成システム等に関する実態調査」
- 2019(内) 「地域経済の振興等に資する外国映像作品ロケ誘致に関する実証調査」
- 2019(文) 「全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究」(p.27)
- 2018(内) 「デジタルアーカイブに関する諸外国における政策調査」
- 2018(文) 「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」(p.29)
- 2016 「VIPO無料法律相談」
- 2006 KOCCA*1、KOFIC等*2、韓国の関係機関との業務提携、交流
- *1 韓国文化コンテンツ振興院(Korea Creative Content Agency)
- *2 韓国映画振興委員会(Korean Film Council)

VIPO設立までの経緯

- 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機関の事業内容等について詳細を固めたうえで、12月6日に設立総会を開催し、初代理事長として迫本淳一が就任。

受託元：略称
(内)内閣府／(総)総務省／(文)文化庁／(経)経済産業省／(東)東京都／(京)京都府／(芸)独立行政法人日本芸術文化振興会／(N)Netflix合同会社
※略称が無い事業は自主事業

INDEX

- P03-04

・VIPO 20年の歩み
・設立の経緯
- P05-06

・VIPO事業マッピング
・組織図
- P07-08

・ndjc:若手映画作家育成プロジェクト
- P09

・映画スタッフ育成事業
- P10

・AFI Conservatory日本人留学生推薦事業
・京都映画企画市
- P11-12

・VIPO Film Lab
- P13-15

・VIPOアカデミー
・フィルム・フロンティア 滞在型企画開発
- P16

・令和5年度補正 我が国の文化芸術コン
テンツ・スポーツ産業の海外展開促進事
業費補助金(コンテンツ産業の海外展開
等支援) JLOX+
・令和6年度補正 クリエイター・事業者支
援事業費補助金(クリエイター・事業者
海外展開促進) JLOX+
- P17-18

・コンテンツ業界向け
セミナー&ワークショップ
- P19-20

・活字文化の
グローバル発信・普及事業
- P21-22

・令和5年度補正「我が国の文化芸術コ
ンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進
事業(コンテンツ産業の海外展開等支援)
(JLOX+)」コンテンツ関連ビジネスマッ
チング事業
- P23

・VIPO Film Award事業
- P24

・カンヌ監督週間 in Tokio
- P25

・令和6年度 舞台芸術等総合支援事業
(全国キャラバン)
・令和6年度 海賊版対策事業
(日越著作権協力事業)
- P26

・東京都コンテンツ活用促進事業
- P27

・全国ロケーションデータベースの
利用促進のための調査研究
・Japan Content Catalog (JACC®)
- P28

・海外向けオンライン出版
コンテンツカタログサイト
「Japan Book Bank」
- P29

・アーカイブ中核拠点形成モデル事業
- P30

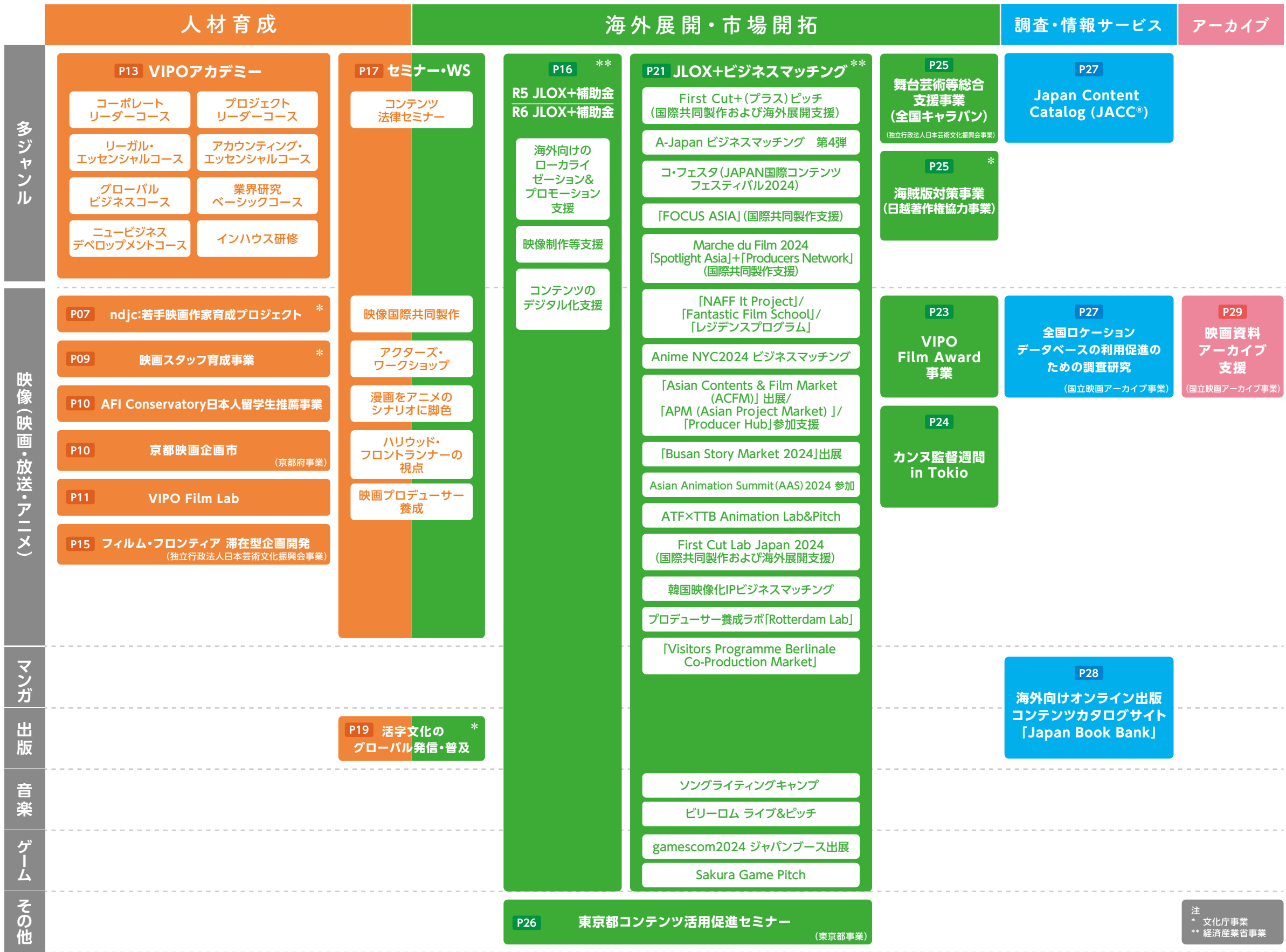
・VIPOインタビュー

- ……人材育成

……海外展開・市場開拓
- ……アーカイブ

……調査・情報サービス
- ……広報活動

VIPO事業マッピング



総会・理事会・幹事理事会 開催実績 <small>※すべてオンラインを併用</small>			
I.総会	・令和6年6月24日(通常総会)		
II.理事会	・令和6年6月6日	・令和6年6月24日	・令和6年12月6日
III.幹事理事会	・令和6年4月5日	・令和6年6月6日	・令和6年12月6日

組織図



次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として 文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

ndjc2024

37団体から63名の応募があり、一次選考を通過した15作家がワークショップに参加しました。その中から選出された4作家が最終課題である製作実地研修に進み、脚本開発を経て短編映画を製作。完成作品を合評上映会で発表しました。多方面からいただく講評は作家の今後の活動に役立たせるべく、すべてをフィードバックします。これまでに完成したndjc作品と併せて、今後も引き続き発表の機会を提供していきます。

スーパーバイザー

西ヶ谷寿一(東京テアトル)

- 4月 作家公募
 - ・映画関連団体より推薦を受けた作家から、ワークショップ参加者を決定
- 5月
- 6月
- 7月 ワークショップ
 - ・【短編映像制作】同一のテーマ・条件で5分間の短編映像を制作(撮影・編集→上映・講評)
 - ・【プレ脚本指導】個人面談にて講師からアドバイス(個人面談→脚本改稿)
- 8月
- 9月
- 10月 製作実地研修
 - ・25分以上30分以内の短編映画作品を製作(脚本開発→撮影→仕上げ→完成)
- 11月
- 12月
- 1月 合評上映会・講評会
 - ・映画業界関係者、マスコミ等を対象とした合評上映会
 - ・プロジェクト検討委員・脚本講師による講評会
 - ・国内外の映画祭へ出品、映画館での特集上映 他
- 2月
- 3月



ワークショップ



製作実地研修



合評上映会



講評会

ndjc2024 製作実地研修参加作家と完成作品

『スリーピング・スワン』



2025年/アメリカンビスタ/
30分/©2025 VIPO

監督
佐藤そのみ

【作家推薦団体】
日本大学 芸術学部 映画学科
【制作プロダクション】
ザフル
【出演】
諏訪珠理、白本彩奈、松浦りょう、
岩瀬 亮、中井友望



『あて所に尋ねあたりません』



2025年/ヨーロッパンビスタ/
29分/©2025 VIPO

監督
たかはし そうた

【作家推薦団体】
PFF
【制作プロダクション】
松竹ロードキャスティング
【出演】
神田鯉花、樋之津琳太郎、山崎陽平、
やす(ずん)、中島ひろ子



『いちばん星は遠く輝く』



2025年/スタンダード/
30分/©2025 VIPO

監督
武田かりん

【作家推薦団体】
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
【制作プロダクション】
アルタミラピクチャーズ
【出演】
石川瑠華、瀬戸真莉奈、川口大輝、
武次 玲、辻本耕志



『あわいの魔物たち』



2025年/ヨーロッパンビスタ/
30分/©2025 VIPO

監督
守田悠人

【作家推薦団体】
PFF
【制作プロダクション】
Lamp.
【出演】
中村映里子、遊屋慎太郎、
外海多伽子、安藤馳車、銀牙



本事業発足19年、89名が製作実地研修で短編映画を製作 長編映画の企画・脚本開発サポートも加わり国内外で活躍する映画監督が続々と誕生！

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。若手映画作家にとっては、プロのスタッフ指導のもとオリジナル脚本の短編映画を製作するチャンスとなり、

完成作品は映画業界関係者・マスコミ等に向けた合評上映会や一般の観客に向けた映画館での特集上映、また国内外で開催される映画祭への出品などをとおして、広く発表する機会を得ています。「長編映画の企画・脚本開発サポート」では、第一線で活躍する映画プロデューサーと映画監督を講師に迎え、才能ある若手作家に対してオリジナル長編作品の企画・脚本開発およびパイロット映像制作のサポートを行いました。

長編映画の企画・脚本開発サポート

オリジナル映画の企画書・脚本を公募し、選考委員による一次選考にて13名を選出。選出された作家は、小泉徳宏氏(映画監督)による演出講義を受講した後、最終選考に向けて企画書をブラッシュアップしました(任意で脚本も改稿)。あわせて面接も行い、研修参加作家2名を決定しました。2名の作家は、講師による指導のもとで企画・脚本開発、パイロット映像の制作に取り組み、開発された脚本とパイロット映像をもって映画製作者に向けたプレゼンテーションを行いました。



プレゼンテーション

講師

小泉徳宏(映画監督)／巢立恭平(プロデューサー)

スケジュール

- 5月 募集開始
- 6月
- 7月 募集締切
- 8月
- 9月 一次選考/講義(映画の企画開発について)
- 10月 面接
- 11月 最終選考
- 12月 企画・脚本開発、パイロット映像制作
- 1月
- 2月 初稿・パイロット映像完成、
- 3月 プレゼンテーション



出身監督の主な活躍 / 近年の劇場公開作品(未公開含)

- ndjc2008 中野量太監督…『浅田家!!』(20)『兄を持ち運べるサイズに』(25)
- ndjc2008 和島香太郎監督…『梅切らぬバカ』(21)
- ndjc2009 金井純一監督…『マイ・ダディ』(21)
- ndjc2009 岨手由貴子監督…『あのこは貴族』(21)
- ndjc2010 松永大司監督…『エゴイスト』(23)
- ndjc2011 中江和仁監督…『劇場版「きのう何食べた?」』(21)
- ndjc2012 庄司輝秋監督…『さよなら ほやマン』(23)
- ndjc2014 吉野耕平監督…『ハケンアニメ!』(22)『沈黙の艦隊』シリーズ(23・25)
- ndjc2015 佐藤快磨監督…『泣く子はいねぇが』(20)

研修参加作家と開発作品



成瀬都香監督
『陰キャな(^)えーあい』



©2025 VIPO



渡邊裕也監督
『朝日は当たる』



©2025 VIPO

- ndjc2015 ふくだももこ監督…『炎上する君』(23)
- ndjc2015 堀江貴大監督…『先生、私の隣に座っていただけませんか?』(21)
- ndjc2016 金 允洙監督…『あるいは、ユートピア』(24)
- ndjc2017 池田 暁監督…『きまじめ楽隊のぼんやり戦争』(21)
- ndjc2018 山元 環監督…『この夏の星を見る』(25)
- ndjc2019 山中瑠子監督…『ナミビアの砂漠』(24)
※第77回カンヌ国際映画祭 監督週間正式出品/国際映画批評家連盟受賞
- ndjc2021 藤田直哉監督…『臉の転校生』(24)
- ndjc2021 道本咲希監督…『ほなまた明日』(24)
- ndjc2021 団塚唯我監督…『見はらし世代』(25)
※第78回カンヌ国際映画祭 監督週間正式出品

映画スタッフ育成事業

文化庁 委託事業



映画スタッフを目指す学生に、実際の映画制作現場での実習を通して、現場での初歩的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生／学校／制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの制作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の制作現場で活躍できるスタッフを持続的に育成することを目指しています。2018年度から当機構が事務局を運営しています。映画学科や映像系学科等がある大学／専門学校等を中心に一般大学、美術大学、服飾美容系専門学校も含めて募集を行ない、2024年度は40人の学生が実写劇映画16作品の撮影現場にてインターン実習を経験しました。実習後アンケートでは制作会社／学生の両者から満足度と有益度が高い評価を得ました。[学生:有益度 100%、制作会社:次の現場でも学生を受け入れたい 100%]

実習職種

演出／撮影／照明／録音／制作／プロデューサー／美術／装飾／衣裳／ヘアメイク／編集／サウンドデザイン 等

実習生の声

- 将来のビジョンが明確に見えてきた。
- 実際の撮影現場に参加した事で、より具体的に全体の流れや、働き方を知ることができた。
- ネットで調べてもいまひとつ分からなかった具体的な仕事内容についてたくさんお話を伺えたことが一番の収穫。
- 将来につながる素敵な出会いを沢山させていた。
- 様々な大変さを感じながらも迎えたクランクアップ時の感動はいつまでも忘れずにいたい。

学校関係者の声

- 現場での動き方や、やりがい、充実度など授業では得られないことを多く学んできた。
- スタッフやキャストの方の仕事に対する情熱に感銘を受け、人間的にも成長できた。
- フリーランスか就職するべきかと悩んでいたことについて現場の皆さんが相談に乗ってくださって嬉しかったようだ。

制作現場の声

- 現場で学べる事があるので、学校は現場にどんどん生徒を送り込んでほしい。
- インターンが来てくれて、撮影現場に新鮮な感覚を吹き込んでくれた。
- 後継者育成やこの仕事に興味を持ってもらうためにも積極的に受け入れていこうと思う。
- 目に見えている撮影現場以外の部分を知れたのは大きな成果なのではと思う。
- 終盤は顔つきが変わってきて、立派にスタッフの一員になっていた。

2018年～2024年度 実習121作品

メジャースタジオ作品からインディペンデント系まで、米・第96回アカデミー賞視覚効果賞受賞した『ゴジラ-1.0』ほか日本アカデミー賞受賞作品や海外映画祭出品作まで多様な現場で実習。

2025年3月以降 公開(予定)作品

『35年目のラブレター』塚本連平監督／『顔だけじゃ好きになりません』耶雲哉治監督／『お嬢と番犬くん』小林啓一監督／『早乙女カナコの場合は』矢崎仁司監督／『ぶぶ漬けどうどす』富永昌敬監督／『でっちあげ ～殺人教師と呼ばれた男』三池崇史監督／『ババンバンバンバンパイア』浜崎慎治監督／『遠い山なみの光』石川 慶監督／『カラダ探し THE LAST NIGHT』羽住英一郎監督／『旅と日々』三宅 唱監督 等

公開済作品 一部

【大型エンタメ作品】

『ゴジラ-1.0』山崎 貴監督／『男はつらいよ お帰り 寅さん』山田洋次監督／『記憶にございません!』三谷幸喜監督／『シン・ウルトラマン』樋口真嗣監督／『シン・仮面ライダー』庵野秀明監督／『ザ・ファブル 殺さない殺し屋』江口カン監督／『そして、パトンは渡された』前田哲監督／『ディア・ファミリー』月川 翔監督／『飛んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』武内英樹監督／『ハケンアニメ!』吉野耕平監督／『ブレイブ 群青戦記-』本広克行監督／『マスカレード・ナイト』鈴木雅之監督／『ラゲリより愛を込めて』瀬々敬久監督 等

【インディペンデント系作品】

『ある船頭の話』オダギリジョー監督／『Winny』松本優作監督／『エゴイスト』松永大司監督／『殺さない彼と死なない彼女』小林啓一監督／『最後まで行く』藤井道人監督／『さかなのこ』沖田修一監督／『月』石井裕也監督／『罪と悪』齊藤勇起監督／『箱男』石井岳龍監督／『ミッシング』吉田恵輔監督／『よこがお』深田晃司監督 等

【時代劇作品】

『鬼平犯科帳 血闘』山下智彦監督／『碁盤斬り』白石和彌監督／『シサム』中尾浩之監督／『室町無頼』入江 悠監督／『雪の花とともに在りて-』小泉堯史監督 等

学生向けオンラインセミナー全3回

映画業界の第一線で活躍するプロフェッショナルを講師に迎え、全国の学生も参加できるようオンラインで開催。監督・プロデューサーが登場した1回目のセミナー受講後アンケートでは「映画業界に進みたくなった」91%の高評価を得ました。

- ①実習作品『愛に乱暴』公開記念!森ガキ侑大監督特別講座
～企画から公開までの裏側を大公開!
2024年9月7日 講師: 森ガキ侑大監督、横山蘭平プロデューサー 参加45名
- ②映画制作のお仕事いろいろ 録音部編
～録音・整音・音響効果・サウンドデザインなどなど
2025年2月20日 講師: 山本タカアキ(録音技師) 参加91名
- ③映画制作のお仕事いろいろ 装飾部編
～作品の世界観を創り上げる!装飾の魅力
2025年3月6日 講師: 龍田哲児(装飾) 参加48名

(敬称略)

AFI Conservatory 日本人留学生 推薦事業

自主事業



将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2024年度は2025年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集いたしました。

AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督／監督／編集／プロデューサー／美術／脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。

京都映画企画市

京都府 委託事業

映画企画コンテスト

開催日:2024年10月5日 ハートピア京都

京都にて時代劇・歴史劇企画を映像化できる映画企画コンテストを開催。新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的として、映像製作者を対象に京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品企画を募集。2024年度は書類選考を通過した5企画のプレゼンテーションを行い、業界の第一線で活躍する犬童一心監督、須藤泰司プロデューサー(東映)、和田 隆プロデューサー(映画.com)の3名が応募企画を審査しました。優秀映画企画に選ばれた『引かれ者の小唄』(栗本慎介監督・脚本:島村 隆氏)には、350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、松竹撮影所にて撮影が行われました。



企画市関連2作品が遂に長編化実現。
『黒の牛』東京国際映画祭ワールドプレミア、
『侍タイムスリッパ』日本アカデミー賞受賞の快挙。

京都映画企画市

時代劇の拠点、京都にて開催する
時代劇映画のオリジナル企画コンテスト
優秀映画企画は、太秦の撮影所にて
パイロット版制作

2016年度優秀映画企画『黒の牛』(蔦 哲一朗監督) が企画市パイロット版から初長編化

歴代パイロット版から日本・アメリカ・台湾の国際共同製作により初長編化が実現。台湾の名優リー・カンション氏を主演に迎え、日本人キャストは田中 泯氏、音楽は故・坂本龍一氏と国際色豊かなキャスト・スタッフが集結。第37回東京国際映画祭の「アジアの未来部門」に選出され2024年11月に公式上映されました。2026年1月公開予定です。



2024年11月 東京国際映画祭での様子

2017年度ファイナリスト『侍タイムスリッパ』 安田淳一監督

安田監督自身で自主映画として長編化、大ヒットを記録して2025年3月の第48回日本アカデミー賞では最優秀作品賞・最優秀編集賞を受賞しました。

映画企画相談会

開催日: 2024年9月14日(オンライン)

最前線で活躍するプロデューサーの久保田 傑氏、永井拓郎氏から企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会をオンラインにて実施しました。

VIPO Film Lab

自主事業



グローバルな視野を持ち国内外で活躍できるプロデューサー、監督、脚本家など
業界プロフェッショナルを育成する場、それが「VIPO Film Lab」です。
実践トレーニング、ワークショップ、オンライン講座など、
目的別に様々な人材トレーニング等を行っています。

1. 国際プロデューサーコース（Netflix協賛）

国際的に活躍する若手プロデューサー育成のため、国内外の経験豊富な業界エキスパートや現役で活躍するプレイヤーを講師陣に迎え、
即実践で活用できる基本的な知識やテクニックを身につけることを目指し開催しました。

【開催期間】2024年9月～2025年1月(全10回)

【講義内容と講師】

- 「映画祭とは、映画祭の活用方法」：矢田部吉彦（前東京国際映画祭ディレクター）
- 「国際共同製作概略」：水野詠子（映画プロデューサー）
- 「海外PRの役割」：高松美由紀（フリーストーンプロダクションズ代表）
- 「セールスエージェントの役割」：Yohanne Comte (chairman&co-founder, Charades)
- 「海外の企画マーケットについて」：Alessandro Gropplero (FVG Audiovisual Fund)
- 「アジアの国際共同製作支援について」：(KOFIC, Create Hong Kong, TAICCA, FDCP, Dana Indonesiana fund 担当者)
- 「海外向け企画ピッチングについて」：Shrihari Sathe(映画プロデューサー、ニューヨーク大学ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツ講師)
- 「国際映画製作のケーススタディ」：福岡美由紀（プロデューサー）
- 「国際共同製作におけるリーガルリテラシー」：石堂瑠威（TMI総合法律事務所 パートナー弁護士）
- 「脚本開発における戦略とツール」：Clare Downs (EAVE スクリプト・アドバイザー)

【参加者】国際的な活躍を志望するプロデューサー23名

2. 映画の企画脚本講座

受講者が温めているオリジナル企画を映画としてどのように具現化させていくかについて、講師
がシナリオ術のレクチャーを交えてフィードバックし、また受講者同士でもディスカッションできる
機会を設けました。

【開催期間】2024年10月16日、17日(2日間)

【講師】加藤正人(脚本家・映画『クライマーズ・ハイ』、『風待ち』)

【参加者】脚本家、映画プロデューサー、映像制作に携わる11名



3. 監督コース（Netflix協賛）

フランス国立映画学校(FEMIS)をはじめ世界中で教鞭をとるブリス・コヴァン氏を講師に招き、
世界基準の映画表現や専門知識をワークショップ形式でレクチャー。日本の教育現場ではなかなか
触れられない実践的かつロジカルな指導は、撮影現場でも即座に且つ大いに活かすことができ
ると、参加者からは大変好評を博しました。更に今回は初日のブリス氏による講義をオンライン
併用の公開講座として実施。より多くの方に高度な演出についての学びを提供しました。

【開催期間】2025年3月10日～14日(5日間)

《オンライン併用の公開講座》演出についての講義

《実習ワークショップ》俳優との演技の組み立て・撮影・ラッシュ講評

【講師】ブリス・コヴァン

【参加者】小林達夫、坂部敬史、野田麗未、畠山佳奈(公開講座参加者:43名)



4. 映画の企画開発講座

受講者10名が企画案を説明した後、モデレーターである篠原 圭氏からのコメント、脚本家の池端
俊策氏からの脚本家の視点からの講評、海外作品の演出家である米倉リエナ氏からは海外向け
のアドバイスによって、よりよい企画案に改善していきました。

【開催期間】2025年3月18日、19日(2日間)

【講師】池端俊策(脚本家)、米倉リエナ(演出家、演技講師)

【モデレーター】篠原 圭(NHKエンタープライズ)

【参加者】映画プロデューサー、脚本家、映像制作に携わる10名



5. NY脚本ワークショップ（Netflix協賛）

コロンビア大学スクール・オブ・アーツ脚本講師の招聘や映画プロデューサーらを迎え、対面およ
びオンラインでの脚本および個別指導による集中的な脚本指導を行いました。一般公開含む脚
本講義や脚本へのフィードバック指導を通して脚本のさらなるブラッシュアップを図り、脚本の映
画化を目的とした実践的なプログラムを提供しました。

【開催期間】2024年12月～2025年4月

【参加者】木下雄介、竹葉リサ、山下つばみ



6. リスペクト・トレーニング（Netflix共催）

日本のエンターテインメント業界の労働環境改善に向けた取り組みとしてNetflixが実施してい
る「Respect Training(リスペクト・トレーニング)」を、まだ受講したことのない方を対象にVIPO
とNetflixとの共催にて無料で開催しました。多くの方に関心を寄せていただき、当初予定してい
た7回の申込は早々に全回満席に。そこで、2回の追加開催を行い、全9回の開催となりました。

【開催期間】2024年9月～12月

【講師】田中秀憲(ピースマインド株式会社)

【参加人数】295名(全9回)



7. 奈良橋陽子氏による

「俳優のためのセルフ・テープ オーディション対策講座」

12名の受講者に合わせて与えられた英語もしくは日本語のシーンに沿って、演技の上達を促し、
より自信をもってオーディションに臨めるようにきめ細やかな演技指導によりその俳優の隠れた
才能を発揮させるワークショップを実施しました。

【開催期間】2024年10月27日、11月3日、4日(3日間)

【講師】奈良橋陽子(ユナイテッド・パフォーマーズ・スタジオ[UPSアカデミー]芸術監督/演出家/
プロデューサー/作家)

【参加者】経験のある俳優業の方(高校生以上)





ビジネススキルの習得だけでなく ジャンルを超えてともに学んだ受講者によるネットワークは 新しいビジネスへのきっかけになっています

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場になりました。また2024年度より、新規事業立ち上げの基礎となる考え方を学ぶ「ニュービジネスデベロップメントコース」が加わり、グローバルシーンでのコミュニケーション力を磨く「グローバルビジネスコース」、法

律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「アカウンティング・エッセンシャルコース」、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」を含め、現在、全7コースを開講しています。2024年度も春期・秋期・冬期に、オンラインや対面などそれぞれのコースの特性に合わせて実施いたしました。2024年度は、延べ29社80名※に受講いただき、これまでの累計は156社1,001名となりました。

※業界研究ベーシックコースの単発受講者を除く

2024年度開講内容

コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ビジネスアカウンティング、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー(経営幹部人材)を育成します。

第19期
2024年 5月18日～8月8日およびフォローアップ2月6日
第20期
2024年 9月14日～12月5日およびフォローアップ6月5日

プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ビジネスアカウンティング、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第17期
2024年 5月25日～8月6日およびフォローアップ2月4日
第18期
2024年 9月21日～12月10日およびフォローアップ6月6日

経営者講演会

コーポレートリーダーコース、プロジェクトリーダーコース受講者向けの特別講演会を実施しました。



登壇者 吉村文雄
東映株式会社
代表取締役社長

＜2024年春期＞
脈々と「作品を作り続ける」東映がマルチユースというビジネスモデルにたどり着いた背景とこれからのビジョン



登壇者 植田勝教
ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役社長

＜2024年秋期＞
社会に対して価値を提供しつづける。「クリエイティブでありたい」という想いにかけたビクターエンタテインメントが2030年に目指す姿とは

最終発表審査会/成果発表会



コーポレートリーダーコースおよびプロジェクトリーダーコースでは、コース最終日に業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学びの成果を発表しました。

※2024年はオンラインで実施しました

新コース

ニュービジネスデベロップメントコース～新規事業のはじめ方講座～ (新規事業の検討を求められている方、ビジネスアイデアを具体的なプランに落とし込めていない方向け)

Day1 アイデア企画	Day2 ビジネスモデル検討	Day3 プレゼンテーション
<ul style="list-style-type: none"> ▶新規事業の検討の基本的な流れとフレームワークを理解する ▶アイデアを多角的に検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ビジネスモデルキャンパスを使って様々な視点からビジネスモデルの精緻化を図る ▶ビジネスプランのフレームワークを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶社内承認に必要なビジネスプレゼンテーションを理解する

新規事業立ち上げの基礎となる考え方を学習し、演習(個人およびグループディスカッション)を通じて具体的な新規事業の計画策定の流れについて理解します。

第1期 2024年11月15日～11月29日

グローバルビジネスコース

(仕事において英語を使用し、コミュニケーションを行う方、英語で自身のアイデアを効果的に伝える力を向上させたい方)

＜プレゼンテーション編＞

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、ビジネスシーンで日常的に行われている様々なプレゼンテーション(ビジネスプレゼン、セールスピッチ、取引先との交渉、上司・同僚への提案など)において、自信を持って効果的に自身の考えやメッセージを伝えるスキルと知識を学びます。



第13期 2024年6月19日～7月17日

＜異文化理解力と交渉力強化編＞

異なる文化や背景を持つ相手と円滑にコミュニケーションを取り、信頼を深めるために、必要な知識と有効なフレームワークや分析ツール、表現方法を学び、交渉力・コミュニケーション力の向上を目指します。



第14期 2024年11月13日～12月4日

リーガル・エッセンシャルコース

(契約や知的財産法についての基本的な知識を身につけたい方、法務部門における経験が1年程度の方向け)

＜基礎編＞

法律の枠組みや法的考え方の基本、著作権や商標を中心とした映像コンテンツビジネスにまつわる知的財産権制度の概要、契約締結交渉時の勘所などの基礎を身につけます。

第4期 2024年10月1日～10月15日

＜実践編＞

コンテンツビジネスにまつわる契約実務について、各回の前半は講義により知識を整理し、後半は模擬事例をもとにしたグループディスカッションを行うことで、実践に役立つ考え方を身につけます。

第3期 2024年10月29日～11月12日

アカウンティング・エッセンシャルコース

(ビジネスの知識は十分にあるが、あらためてビジネスの視点から財務諸表を勉強したい方、経理財務部門に所属の場合は、経験がおおよそ1年程度の方)

財務会計の考え方や財務諸表の読み方についてビジネスの視点からあらためて学び直し、原価計算や損益岐点分析、新規事業とKPIなど管理会計の基本を、コンテンツビジネスの事例に基づいて身につけます。

業界研究ベーシックコース

(コンテンツ業界各ジャンルの基礎知識を習得したい方向け)

ジャンルを超えたコンテンツビジネスを生み出すために、コンテンツ業界の各ジャンル(キャラクター・ゲーム・出版・アニメ・映画・テレビ・音楽)のマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの展開事例(主にジャンルを超えた展開事例および海外展開事例)を学びます。

第12期 2025年1月15日～2025年3月5日

アカデミー卒業生交流会

5年振りに卒業生交流会(同窓会)を開催しました。当日は、50名以上の卒業生や講師が参加し、互いに近況等を語らいながら、旧交を温め、親睦を深めるとともに、他期・他コースの方々との情報交換・人脈形成の場としてもご活用いただきました。

2025年2月14日実施



インハウス研修を提供

公開7コース以外にも、企業のニーズに合わせてカスタマイズできるインハウス研修を実施しています。
リーダーシップ、新規事業の立ち上げ、著作権法など、さまざまなプログラムが可能です。

インハウス研修の詳細はVIPOアカデミーの公式サイトをご覧ください。 https://vipo-academy.jp/in-house_training/

実施実績		
リーダーシップ系プログラム	リーダーシップ研修	キャラクター業界、音楽業界ほか
	ビジネスプランニング研修	映画業界
思考系プログラム	ロジカルシンキング研修	音楽業界
その他のプログラム	デジタルマーケティング研修	ゲーム業界
	英文ビジネスライティング研修	映画業界
	セールスピッチ研修	テレビ業界
	リーガル知識研修	映画業界、広告業界
	リーガル研修<基礎編>	キャラクター業界
	ファイナンス・エッセシャル研修	音楽業界
	CS向上研修	映像業界

VIPOアカデミーの公式サイトでは、インハウス研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。

「VIPOアカデミー」の公式サイトURL
<https://vipo-academy.jp/>

「VIPOアカデミー」の公式X
https://twitter.com/VIPO_ACADEMY



フィルム・フロンティア 滞在型企画開発

独立行政法人日本芸術文化振興会 文化芸術活動基盤強化基金
新規事業 委託事業



文化庁の補助金によって「文化芸術活動基盤強化基金」が独立行政法人日本芸術文化振興会に設置され、次代を担うクリエイター等の挑戦・育成を支援することを目的とした人材育成プログラム事業が開始。映画分野における「クリエイター等育成プログラム」は「フィルム・フロンティア」として始動し、VIPOでは「滞在型企画開発」の運営をおこなっています。60件近くのプロジェクト応募があり、外部選考委員による慎重な審査を経て4名の育成対象者を決定しました。

レジデンス先: ニューヨーク(アメリカ)、パリ(フランス)、プチョン(韓国)

事業スケジュール

2024年度
育成対象者応募～選定

2025年度
レジデンス派遣、
企画マーケット等への参加準備

2026年度
企画マーケット、ラボ等への派遣

育成対象者



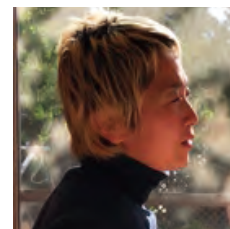
飯塚陽美



佐久間啓輔



早川千絵



山下つぼみ

(敬称略)

令和5年度補正 我が国の文化 芸術コンテンツ・スポーツ産業 の海外展開促進事業費補助金 (コンテンツ産業の海外展開等支援) JLOX+

経済産業省 補助事業



本事業は経済産業省の令和5年度補正予算による「我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業費補助金(コンテンツ産業の海外展開等支援)(62億円)を受け、

(1) 海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援

(2) 映像制作等支援を行う事業

①国内映像制作を行う事業(プロダクション・ポストプロダクション支援)

②国内映像企画開発を行う事業(プリプロダクション支援)

③海外制作会社による国内ロケ誘致等に係る支援

(3) コンテンツのデジタル化支援を行う事業

①次世代デジタル技術等を活用したデジタルコンテンツ創出支援

②コンテンツ製作の生産性向上に資するシステムの開発・実証支援

を支援するもので、新たな事業環境を見据え、コンテンツ産業の輸出拡大・海外展開や新市場開拓を促すことを目的としています。
当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため必要経費の一部を助成するものです。

主な活動内容

- ▶ 補助金の対象や応募方法などを紹介する「補助金説明会」を開催。また、説明動画をホームページに掲載しました。
- ▶ 応募を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催。メールや電話での相談も随時受け付けました。
- ▶ 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催しました。

令和6年度補正 クリエイター・ 事業者支援事業費補助金 (クリエイター・事業者海外展開促進) JLOX+

新規事業

経済産業省 補助事業



本事業は経済産業省の令和6年度補正予算による「クリエイター・事業者支援事業費補助金(クリエイター・事業者海外展開促進)」(56.5億円)を受け、

(1) 海外向けのローカライゼーション&プロモーションを行う事業の支援

(2) 映像制作等支援を行う事業

①国内映像制作を行う事業(プロダクション・ポストプロダクション支援)

②国内映像企画開発を行う事業(プリプロダクション支援)

③海外制作会社による国内ロケ誘致等に係る支援

(3) コンテンツのデジタル化・構造改革を行う事業

①デジタル技術を用いた先進ビジネスモデル構築支援

②コンテンツ製作・流通における生産性向上/構造改革・強化に資するシステムの開発支援

を支援するもので、新たな事業環境を見据え、コンテンツ産業の輸出拡大・海外展開や新市場開拓を促すことを目的としています。
当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため必要経費の一部を助成するものです。

コンテンツ業界向け セミナー&ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成を
メインにセミナーやワークショップを開催

セミナー 映像国際共同製作 北京市政府方針紹介セミナー

中国企業との協業を目指すコンテンツ事業社を対象に、北京自由貿易試験区の企業との共同製作によって、日本の製作会社が得られるステータスや、それに伴って短縮される審査期間など北京市政府の新ポリシーの概要と、実際にその制度を使って共同製作をすすめるプロセスを紹介。

開催日 2024年4月17日 ※ハイブリッド開催
講師 劉 春剛(北京アニメゲーム産業協会 事務局長)
樊卿(テンセント株式会社 プロデューサー)



劉 春剛

セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

第17弾 「放送コンテンツの著作権と権利処理」

放送コンテンツの多メディア化と海外展開は、グローバル市場での成功を目指す上で非常に有望ですが、そのためには契約と権利処理を適切に行うことが不可欠です。近時のトピックや問題点に焦点をあてて、著作権と権利処理の最新の動向や実務的な対策について理解を深めました。

第18弾 「2時間で学ぶAIの権利と法務の最前線」

本年、内閣府でまとめられた生成AIと知的財産権に関する現状や課題について事例を含めてわかりやすく解説していただいたほか、新たに拡大する論点としてAIカバー「声の保護」やディープフェイク全般についても取り上げました。

開催日 2024年5月22日、12月13日 リアル開催
講師 福井健策(弁護士[日本・ニューヨーク州]／日本大学芸術学部・神戸大学大学院・IUほか客員教授)



福井健策



ワークショップ アクターズ・ワークショップ

映画においてリアリティのある演技を実践するための演技指導を行っていただきました。各受講者の演技の悩みや日々の訓練方法等を参照しつつ、ワークショップ内の自己紹介や一人芝居、二人芝居の課題の実践を見ながら、ひとり一人にアドバイスをしました。

開催日 2024年6月19日、26日 リアル開催
講師 成島 出(映画監督／脚本家)



成島 出

セミナー&ワークショップ 「漫画をアニメのシナリオに脚色する実践講座」

講師による漫画とアニメのシナリオとの表現の違いについての解説の後、受講者同士で脚色のアイデアを共有するプレストを実施。そして受講者のみなさまに脚色を実践していただき、合評を行うことで、脚色のコツを習得しました。講師からは、座学、グループワークのご指導、受講者一人一人へ個別講評をいただきました。

開催日 2024年9月5日、11月25日<2日間> リアル開催
講師 小林雄次(脚本家／小説家)



小林雄次

セミナー Netflix寄付講座「映画プロデューサー養成講座／基礎編 2024」

Netflixと共催し慶應義塾大学の学生を対象にした本講座は“脚本”に重点を置いており、プロデューサーに求められる広義の知識を体系立てて学べる基礎的な課題を中心に、読む力、書く力を養うためのノウハウを中心に学びました。

開催日 9月26日、27日<2日間> リアル開催
講師 安藤紘平(映画監督 早稲田大学名誉教授)
ゲスト 橋口亮輔(映画監督／脚本家)

セミナー スー・ヒュー氏「ハリウッドフロントランナーの視点 —世界で注目を集めるアジアの物語。その企画のコアとなる訴求力とは?—」 オンラインセミナー

Apple TV+「Pachinko パチンコ」の製作・脚本を手がけたスー・ヒュー氏を講師に迎え、ハリウッドの最前線で活躍する講師によるセミナーの第4弾を実施しました。アジアにルーツを持つ女性だからこそ実現した「Pachinko パチンコ」の企画経緯やピッチングにおける工夫から、この作品が多くの視聴者を魅了し広く受け入れられた理由やご自身のキャリアについて等、海外との映像製作に今後関わりたい皆様の参考になるお話を多くいただきました。

開催日 2024年9月27日 オンライン開催
講師 スー・ヒュー(『Pachinko パチンコ』エグゼクティブ・プロデューサー／脚本)



スー・ヒュー

セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第9弾

「映画」を題材に映像コンテンツ製作に必要な不可欠なプロデュースの基礎知識を集中的に学びました。プロデューサーに求められる広義の知識を体系立てて学べる本講座では“脚本”に重点を置いており、受講者は、読む力、書く力を養うためのノウハウを中心に学びました。2日目の後半では、橋口亮輔監督と安藤講師との対談形式のセッションをおこない、映画監督とプロデューサーの向き合い方などリアルな話をいただきました。

開催日 2024年11月28日、29日<2日間> リアル開催
講師 安藤紘平(映画監督／早稲田大学名誉教授)
ゲスト 橋口亮輔(映画監督／脚本家)



橋口亮輔

安藤紘平

活字文化の グローバル発信・普及事業

文化庁 委託事業

日本の多様で豊かな活字文化を海外へ発信・普及させるためのプロジェクトを推進しました。海外発信の基盤となる翻訳家の発掘・育成を行うとともに、出版社等による作品の海外展開を促進し、あわせて、世界の文学関係者、出版関係者等を対象に、日本の活字文化の理解をより深めるための活動を実施。これらの活動を通じて、日本書籍の翻訳家を支援するとともに、日本の書籍が数多く翻訳され、海外での普及が促進することを目指しました。

海外における日本書籍の出版・流通に向けた翻訳助成事業

日本の出版社の海外展開を支援することを目的に、日本の書籍を海外にライセンスアウトする際の営業や交渉において必要となる企画書の翻訳・作成とサンプルの翻訳に係る費用の助成事業を実施しました。助成を受けた書籍から海外での出版契約が決まる成功事例が続々と増えています。



「フランクフルト・ブックフェア2024」におけるプロモーション

2024年10月16日～20日に開催された「フランクフルト・ブックフェア2024」において、以下を実施しました。

- (1) 日本マンガ市場に関するセミナー
- (2) マンガ4作品の展示 @Japan Booth
- (3) マンガ翻訳に関するトークセッション
- (4) 日本の書籍をドイツで翻訳出版するための商談会



「JLPP翻訳コンクール」および「BUNGAKU DAYS 2025 SPRING」の開催



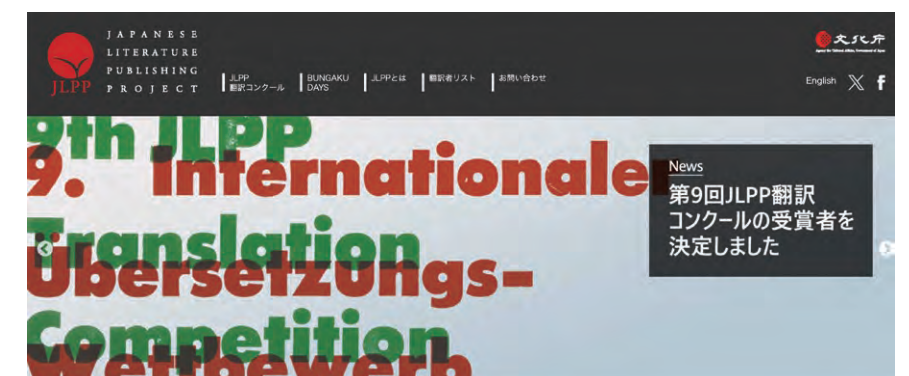
日本の優れた文学作品を翻訳して世界に発信し、文学水準の一層の向上を図るとともに、将来を担う翻訳家の育成等を目的として、「第9回JLPP翻訳コンクール」を開催しました。第9回からは、さらに日本文学の魅力を広く伝えるべく、現代文学部門に加え、古典文学部門を新設しました。

また、「第8回JLPP翻訳コンクール」の受賞者（英語部門）を対象に、現代日本文学の翻訳家をを目指す方々のスキルアップ等を目的としたワークショップと出版セミナーを実施。さらに、「第9回JLPP翻訳コンクール」の授賞式および記念シンポジウム「BUNGAKU DAYS 2025 SPRING」を初めて京都で開催しました。

■「第9回JLPP翻訳コンクール」

実施概要

応募受付期間：2024年6月1日～6月30日
 受賞者発表日：2025年1月17日
 応募人数：
 現代文学部門 英語 132名
 現代文学部門 ドイツ語 46名
 古典文学部門 英語 43名



■「BUNGAKU DAYS 2025 SPRING」

開催概要

日時：2025年2月22日13:00～
 会場：【京都本会場】国立京都国際会館
 【東京サテライト会場】出版クラブビル

プログラム

- 第9回JLPP翻訳コンクール授賞式
- 第9回JLPP翻訳コンクール記念シンポジウム
- セッション①『翻訳と創作 一詩と小説、及び「二人称」の翻訳』
- セッション②『海外における日本文学の翻訳事情と新人翻訳家育成支援のあり方』
- セッション③『古典の翻訳 一受賞作品にみる古典翻訳の可能性』
- 特別セッション『世界が求める日本の物語 一 活字コンテンツのグローバル展開の可能性』
- 交流会（関係者のみ）



次回「第10回JLPP翻訳コンクール」の対象言語は、現代文学部門は英語とスペイン語、古典文学部門は英語となります。
 応募受付期間は、2025年6月1日～6月30日を予定しています。

JLPP翻訳コンクールウェブサイト：<https://www.jlpp.go.jp/>

海外展開・市場開拓

令和5年度補正 「我が国の文化芸術 コンテンツ・スポーツ産業の 海外展開促進事業 (コンテンツ産業の海外展開等支援) (JLOX+)」 コンテンツ関連ビジネスマッチング事業

経済産業省

コンテンツ産業の輸出拡大・海外展開の促進と、国際競争力強化を目的としたプロジェクト。日本発のIP、アニメ、ゲーム、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや、先進的なコンテンツ技術等、複数の分野にわたり、海外の業界団体・機関・企業や国際的なイベントと連携し、ビジネスマッチングの機会を提供します。これにより、日本のコンテンツが持つ魅力と拡がり世界へ広く発信し国際取引活性化や新市場創出を図ります。

ファースト映画祭「FOCUS ASIA」(国際共同製作支援)

【開催日】2024年4月29日～5月1日 【会場】イタリア・ウディネ

カンヌ国際映画祭併設マーケット Marche du Film 2024「Spotlight Asia」+ 「Producers Network」(国際共同製作支援)

【開催日】2024年5月14日～22日 【会場】フランス・カンヌ

First Cut+ (プラス) ピッチ (国際共同製作および海外展開支援)

【開催日】2024年5月27日～6月13日(オンライン開催)、2024年6月30日～7月2日(対面)
【会場】チェコスロバキア・カルロヴィ・ヴァリ

プチョン国際ファンタスティック映画祭 「NAFF It Project」/「Fantastic Film School」/「レジデンスプログラム」

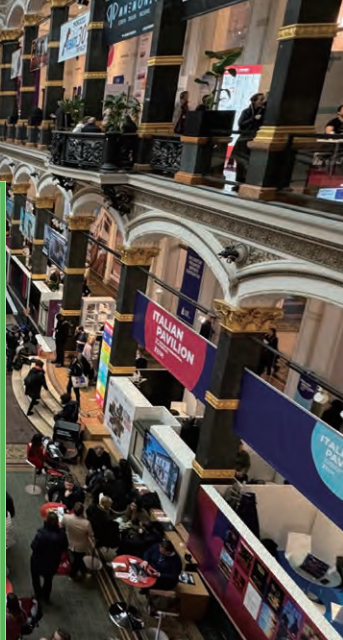
【開催日】NAFF It Project 2024年7月4日～9日、Fantastic Film School 2024年7月4日～10日、
レジデンスプログラム 2024年6月17日～7月15日 【会場】韓国・プチョン

gamescom2024 ジャパンブース出展

【開催日】2024年8月21日～25日 【会場】ドイツ・ケルン

Anime NYC2024 ビジネスマッチング

【開催日】2024年8月22日～25日 【会場】米国・ニューヨーク



Sakura Game Pitch

【開催日】2024年9月29日 【会場】東京



釜山国際映画祭併設見本市「Asian Contents & Film Market (ACFM)」出展/ 「APM (Asian Project Market)」/「Producer Hub」参加支援

【開催日】ACFM&APM 2024年10月5日～8日 Producer Hub 2024年10月5日～7日 【会場】韓国・釜山

釜山国際映画祭併設見本市「Busan Story Market 2024」出展

【開催日】2024年10月5日～8日 【会場】韓国・釜山



A-Japan ビジネスマッチング 第4弾

【開催日】2024年10月8日～12月31日 【会場】オンライン開催 【協力】Amuse Group USA, Inc.

ソングライティングキャンプ

【開催日】2024年10月21日～24日 【会場】タイ・バンコク

ビリーロム ライブ & ピッチ @ 第21回東京国際ミュージック・ マーケット (TIMM) 2024

【開催日】2024年11月6日、7日 【会場】東京



Asian Animation Summit (AAS) 2024 参加

【開催日】2024年11月19日～21日 【会場】台湾・台北

ATF×TTB Animation Lab&Pitch

【開催日】2024年12月3日～6日 【会場】シンガポール



First Cut Lab Japan 2024 (国際共同製作および海外展開支援)

【開催日】2024年12月3日～18日 【会場】オンライン開催

ロッテルダム国際映画祭併設プロデューサー養成ラボ「Rotterdam Lab」

【開催日】2025年2月1日～5日 【会場】オランダ・ロッテルダム



ベルリン国際映画祭併設マーケット 「Visitors Programme Berlinale Co-Production Market」

【開催日】2025年2月14日～17日 【会場】ドイツ・ベルリン



韓国映像化IPビジネスマッチング

【開催日】2025年2月18日～27日 【会場】オンライン開催 【協力】:株式会社ロボット

コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル2024)

【開催日】2024年7月4日 【会場】東京 ※認定イベント32

VIPO Film Award事業

自主事業

「NAFF It Project」(プチョン国際ファンタスティック映画祭、2024年7月5日～9日)、「APM」(釜山国際映画祭、2024年10月5日～8日)、「CineMart」(ロッテルダム国際映画祭、2025年2月2日～5日)といった、3つの国際映画祭マーケット事務局とのパートナーシップのもと、各企画マーケットにて、1つの優秀企画に「VIPO Film Award」を授与しました。

「VIPO Film Award」の目的は、日本との国際共同製作を目指す海外プロデューサーや監督の発掘と、現在進行形の企画トレンドを掴み、日本での企画開発に活かしていくこと、さらには海外マーケット事務局との提携・連携により、日本企画と海外マーケットとの懸け橋となることです。

2024年度VIPO Film Award受賞企画

■「NAFF It Project」

- 企画名:『Naga Swim Upstream』
- 製作国:タイ
- 監督:Patiparn BOONTARIG
- プロデューサー:Napakarn BOONTARIG、Supatcha THIPSENA



■「APM(Asian Project Market)」

- 企画名:『Crocodile Rock』
- 製作国:シンガポール、アメリカ合衆国
- 監督:Kirsten TAN
- プロデューサー:TAN Si En



■「CineMart」

- 企画名:『Four Seasons in Java』
- 製作国:インドネシア、シンガポール
- 監督:Kamila Andini
- プロデューサー:Ifa Isfansyah (Forka Films)



また、「APM2023」(釜山国際映画祭企画マーケット)で「VIPO Film Award」を受賞したチアン・シャオシュエン監督の企画『蒙古馬を殺す(原題:To Kill a Mongolian Horse)』が完成し、「第20回大阪アジア映画祭」(2025年3月14日～23日)にて特別上映されました。監督が来日し、上映後にはQ&Aも行われました。

カンヌ監督週間
in Tokyo

自主事業

カンヌ国際映画祭の独立部門「監督週間」
2024年のオフィシャルセレクションを
いち早く日本で上映!

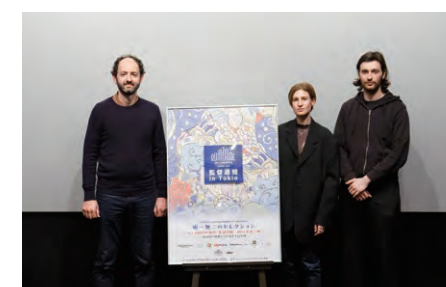


第77回カンヌ国際映画祭の独立部門である「監督週間(Quinzaine des Cinéastes / Directors' Fortnight)」オフィシャルセレクション作品を日本でいち早く上映する「カンヌ監督週間 in Tokyo 2024」を2024年12月8日～14日にヒューマンラストシネマ渋谷にて開催しました。「カンヌ監督週間 in Tokyo」2回目となる今回は、すべての海外作品に日本語字幕をつけ、短編集を含めた11作品を上映しました。

今回もトークイベントを複数回実施。2024年の監督週間に正式出品された日本映画3作品、『ナミビアの砂漠』より山中瑤子監督、主演の河合優実氏、『化け猫あんずちゃん』より久野遥子監督・山下敦弘監督、『とても短い』より山村浩二監督がそれぞれ登壇し、監督週間アーティストック・ディレクターであるジュリアン・レジ氏と深いトークセッションを繰り広げました。



さらにオープニング作品『これが私の人生』(英題:THIS LIFE OF MINE)では、前年に惜しくも逝去したソフィー・フィリエール監督の娘であるアガータ・ボニゼール氏と息子のアダム・ボニゼール氏の貴重な来日を実現。監督の意思を引き継いで作品を完成させた彼らが、その経緯と亡き母への思いを日本の観客に語ってくれました。



日本公開が決まっていない作品も含め、ここでしか観られない唯一無二のセレクションを届ける「カンヌ監督週間 in Tokyo」は12日間で1,200人を超える動員を記録。2回目の開催で、日本の皆さまからより高い関心を寄せていただいていることを実感しました。

「カンヌ監督週間 in Tokyo」概要

【開催期間】2024年12月8日～14日 【会場】ヒューマンラストシネマ渋谷

【上映作品】カンヌ国際映画祭「第56回 監督週間」で上映された長編・短編 全11作品

【主催】監督週間(Quinzaine des Cinéastes / Directors' Fortnight) / 特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)

【共催】東京テアトル 【特別協力】三菱UFJ銀行

【協力】金延宏明(ノブ・ピクチャーズ) / CINEFRANCE STUDIOS / Filmarks / レプロエンタテインメント / 活弁シネマ倶楽部 / ELLE / AKIRA H / 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ / スペースロック / 河本和真(Deep Emotion) / 小林由佳(よーてらよてら)

令和6年度 舞台芸術等総合支援事業 （全国キャラバン）

新規事業 独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

【助成対象期間】

2024年4月1日～2024年12月31日

【交付決定件数】

全国規模の統括団体による公演等実施事業:10件
収益化に向けたデジタルアーカイブ支援:1件

令和6年度 海賊版対策事業 （日越著作権協力事業）

文化庁 委託事業

招聘期間 2024年7月21日～25日 招聘場所 東京、日本

主催 文化庁

著作権研修

【開催日】 7月22日 【会場】 JASRAC および 芸能花伝舎

CMO研修①

【講義内容】 「JASRACの著作権管理事業と演奏・放送許諾」
【講師】 一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）

CMO研修③

【講義内容】 「実演家の権利の集中管理」
【講師】 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
実演家著作隣接権センター（CPRA）

全国における大規模で質の高い公演等の実施や配信を支援することを通じて、国内における文化的な地域格差を解消するとともに、統括団体による活動拠点の形成を促進することを目的にした、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和6年度予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

【主な活動内容】

- 交付決定団体からの問合せ対応
- 交付申請・概算払申請・計画変更申請等の対応
- 実績報告に関わるマニュアル作成・公開
- 実績報告確認・額の確定業務
- 次年度募集HPの設置、問合せ対応

本事業は、日本の権利者のベトナムにおける権利行使、対価還元を支援し、ひいては両国の文化交流の促進に資するため、ベトナムの著作権担当当局である文化・スポーツ・観光省職員等を招聘し、我が国の著作権関連団体による訪日研修並びに政府間協議を実施するもので、文化庁著作権課から受託しました。文化庁、ベトナム文化・スポーツ・観光省窓口と綿密に連携・承認を取り合い、①日越著作権協議 ②著作権等管理事業者による研修プログラム・懇親会 ③有識者との海賊版対策における意見交換会 ④文化拠点をリサーチするスタディ・ビジットなどの企画立案・開催運営を行いました。また、第1回 日越著作権政府間協議の開催に向け、運営補助業務を行いました。

CMO研修②

【講義内容】 「レコードの権利保護と集中管理」
【講師】 一般社団法人 日本レコード協会（RIAJ）

CMO研修④

【講義内容】 「映像実演の権利処理 日本の放送番組の場合」
【講師】 一般社団法人 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）

正規版流通促進（海賊版対策）・普及啓発に関する意見交換

【開催日】 7月23日 【会場】 集英社

【参加者】 株式会社集英社、一般社団法人ABJ、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）、ライツ法律特許事務所、弁護士法人 東京フレックス法律事務所、骨董通り法律事務所、株式会社スクウェア・エニックス 法務・知的財産部、株式会社講談社 編集総務局知財・契約管理部、株式会社KADOKAWA 知的財産部 侵害対策課、株式会社小学館 編集総務局 知財・契約室

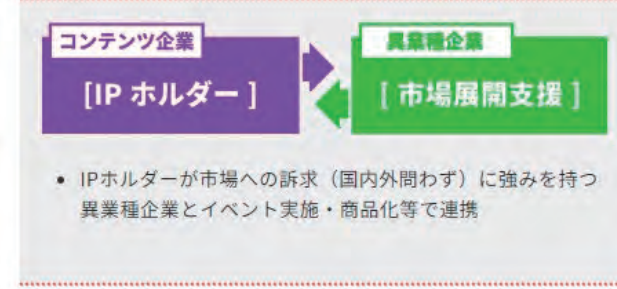
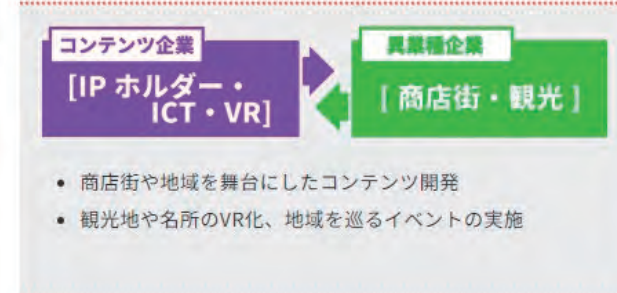
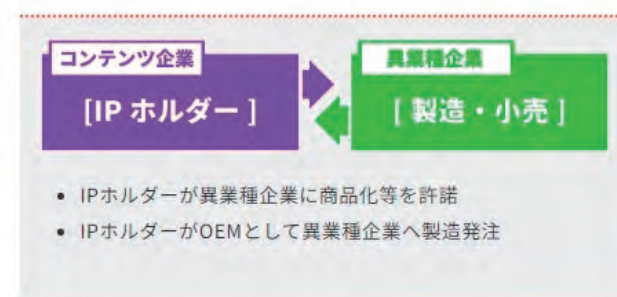
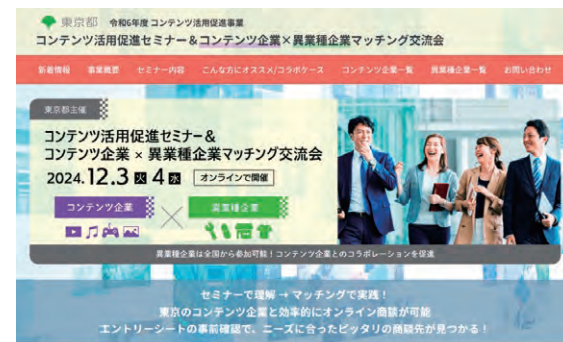
第1回日越著作権協議（政府間会議）

【開催日】 7月24日 【会場】 文部科学省15階 会議室

東京都 コンテンツ活用促進事業

東京都 委託事業

東京都令和6年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促進しコンテンツ活用の裾野を拡げていくため、コンテンツ企業・異業種企業のニーズを踏まえたセミナーの開催と、相互の連携を促進するマッチング交流会を実施しました。



「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

2024年8月22日、23日に、Zoomウェビナーにて2つの異なるテーマでコンテンツ活用におけるポイントや注意点、効果的な活用事例についてお話しいただきました。

テーマ①「コンテンツの海外展開ってどうやるの？」

テーマ②「『推し』の力が世界を変える!コンテンツコラボのポイントと活かし方」

なお、アーカイブ動画としてもYouTubeに限定公開し、多くの方にご視聴いただきました。

「マッチング交流会」の開催

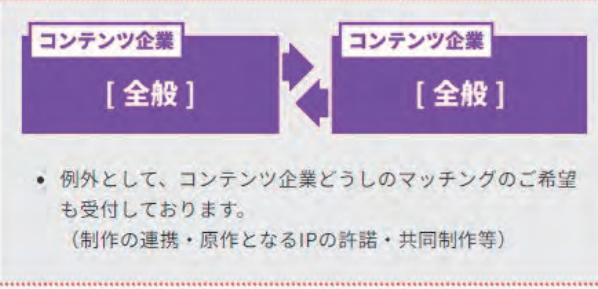
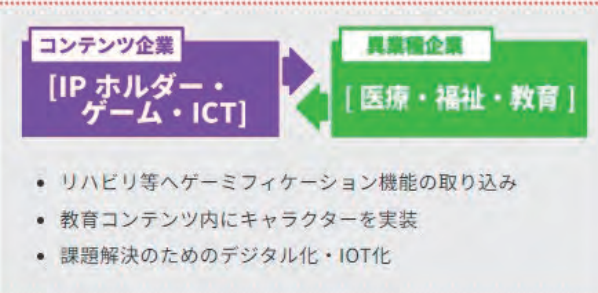
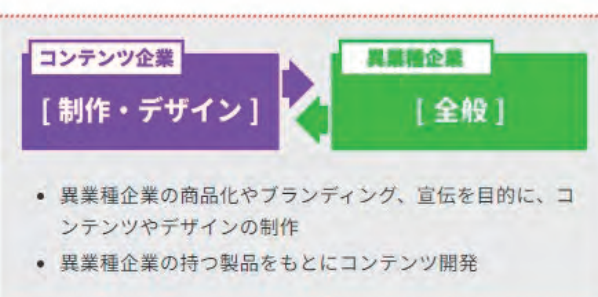
【開催日】 2024年12月3日、4日

【参加者】 コンテンツ企業58社、異業種企業23社

- コンテンツ企業：映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等
- 異業種企業：製造、医療・福祉、教育、商店街、小売、観光等

各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、オンライン商談室を用意。当日は、マッチングが成立した220件中、日程の調整ができた218件の商談を実施しました。

なお、本事業でのコラボケースとしては、次のようなものがあります。



マッチング交流会実施後、相手先と継続して連絡を取り合っている参加事業者も多く、コンテンツ企業と異業種企業とのコラボレーション成立に期待が募る結果となりました。

全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究

国立映画アーカイブ 委託事業

本事業は、全国各地のフィルムコミッション(FC)が持つロケーション情報を一括検索できるシステム「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」(ウェブサイト・スマートフォンアプリ)の充実化を軸に、JL-DBを活用した日本各地域への映像作品撮影誘致や、国内外作品のロケーションに関わるさまざまな支援を行う、各地フィルムコミッションの体制強化等を目的としています。VIPOとジャパン・フィルムコミッション(JFC)*がコンソーシアムを形成し、共同で事業の実施／運営を行いました。

*ジャパン・フィルムコミッション(JFC):国内130以上のFCのネットワーク組織であり、世界およびアジアのFCネットワーク会員。

< 主要事業内容 >

●JL-DB利用促進のためのシステム機能追加検討と運用保守・利用分析

システムを構成する各種サーバのOSやミドルウェア等の移行を実施しました。Googleマップと連携し、ロケ地の3Dビュー表示へのリンクを搭載しました。利用促進のため、各地FCがロケ地データを効率的に登録・更新できるマニュアルとして、JL-DBハンドブックを作成し配布しました。

●JL-DBを通じた海外に向けた効果的な情報発信に関する調査

海外映像制作者の利便性を高めるため、海外・国内のアクセス状況調査と各地FCのデータの多言語化をJFCを通じて推進しました。また、国内のロケ受入れ体制強化のため、海外映像制作者を招いたセミナーの開催や、東京国際映画祭併催「TIFFCOM」参加等多岐にわたる活動を実施しました。

●各フィルムコミッション(FC)への支援強化

FC体制の強化を図るため、地域における撮影支援に必要な人材や地域状況の調査し、FCのサポートができるロケエキスパートとなる人材の発掘や体制の構築を行うモデルケースを作って検証を行いました。

JL-DB JAPAN LOCATION DATABASE 全国ロケーションデータベース



< 関連イベント情報 >

◆海外映像制作者の話が直接聞ける!「海外制作者セミナー」

【開催日時】2025年1月24日

海外作品の国内ロケが増える中、課題の共有や誘致の方法など海外作品制作の経験を持つ制作者と支援経験の多いエリアマネージャーやFC担当者をパネリストに迎えてディスカッションし、実践的な学びの場となりました。



◆JFC全国ロケ地フェア 2024年度は夏冬二回開催

夏:【開催日時】2024年8月9日

冬:【開催日時】2025年1月23日

JL-DBメインコンテンツの一つであるロケ地情報にフォーカスしたイベントで、全国から多数のFCが出展。VIPOのブースではスマートフォンアプリが実現した便利な機能等を実演しアピールしました。



Japan Content Catalog (JACC®)

自主事業

Japan Content Catalog(略称:JACC®)は、①映画、②テレビ番組、③脚本、④ロケ地情報、⑤書籍の各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の5つで、2025年4月1日現在、英語での掲載コンテンツ総数は約110,000件です。一部は中国語(簡体字)にも対応しており、その掲載コンテンツ総数は約1,150件です。

※登録商標「JACC」は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」

自主事業



<https://japanbookbank.com/>

「Japan Book Bank」は、日本の出版コンテンツの翻訳出版に興味を持つ海外の出版社や、映像化を希望する映像制作会社やプロデューサー向けに構築した日本の出版コンテンツを検索できるウェブサイトです。日本の書籍・出版コンテンツと海外の出版コンテンツ関連企業等をマッチングさせ、日本の出版コンテンツの海外展開を促進することを目的としています。

「Japan Book Bank」でできること

●オンラインカタログとして出版コンテンツの検索がいつでも可能

幅広いジャンルでの日本の出版コンテンツを日本語／英語で検索することができます。

・コミック ・文芸/文庫 ・児童書 ・実用書
・ビジネス ・学参/辞典 ・医学 他 (全12ジャンル)

●言語別版權許諾情報を掲載

商談前に本サイトを利用することで、効率の良い商談が可能となります。 ※版權情報は、ID登録者のみ公開されます。

*「Japan Book Bank」は、映画、テレビ番組、アニメ、キャラクター、音楽、ゲーム、脚本、ロケ地情報、クリエイターなどのデータベース一括検索システム「Japan Content Catalog」(japancontentcatalog.jp、通称:JACC®)と連携しています。

●指定した窓口にて問い合わせを受信

メールアドレスを開示せずに海外からの問い合わせを受けることができます。 ※ID登録者のみ問い合わせが可能となります。

●「映像化の原作」としてアピール

トップページの特集等を活用し、映像化の原作として海外の出版社、映像制作会社やプロデューサーに効果的に発信することが可能です。

ローンチから4年で成約数は227件を突破! 国内の登録出版社数は190社以上 海外向け“成果の出る出版BtoBサイト”として日常使いカタログへと進化

2021年3月18日のサイトオープン以来、約4年間で登録出版社数は190社を超え、掲載書籍数も7,200冊以上と順調に成長を続けています。1,200名以上ものユーザーがIDを登録。サイトをきっかけとした成約も220件以上生まれています。

2か月ごとに特集ページを公開

トップページでは、2か月に一度特集内容を更新し、さまざまなジャンルの出版物のご紹介を行っています。



フランクフルトブックフェアへの出展

フランクフルトブックフェアでは、「Japan Book Bank」に登録している書籍の展示コーナーを設け、チラシの配布を通じて来場者へ直接アプローチをしました。

海外ID登録者へのメールニュースの配信

月に一度、ID登録をしている海外ユーザーへ向けてメールニュースを配信し、アクセス数の多いジャンル等、最新のトレンドをご紹介します。このメールニュース受信をきっかけとした問い合わせも発生しています。

※登録商標「JACC」は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



フランクフルトブックフェアでの配布チラシ(表)

アーカイブ中核拠点形成モデル事業

国立映画アーカイブ 委託事業

ネットワーク化の推進

▶ 映画資料所蔵館、IPホルダー、研究者など様々な映画資料関係者が参加する「全国映画資料アーカイブサミット2025」をオンライン開催しました。6回目の開催となる本サミットでは、望ましい映画資料アーカイブの構築に向けてさらに議論を深めるべく、デジタルアーカイブにおける著作権についてのセミナー、映画分野の展覧会キュレーション、特撮資料アーカイブについてのセミナーに関する発表など、多様なプログラムを実施しました。

現地調査研究

▶ 東北、関西、関東の以下の各対象において、映画資料の所在調査を実施しました。
調査対象:東北=映画看板絵師 三瓶勝吉氏のアトリエ、円谷英二ミュージアム、須賀川特撮アーカイブセンター／関西=京都文化博物館、おもちゃ映画ミュージアム／関東=国際放映、近代映画協会、調布市立図書館

映画資料所在地情報検索システム (JFROL: <https://jfrol.jp/>) の新規連携

▶ 神戸映画資料館の所蔵データを連携させ、合計7館・約27万件の所蔵データの横断検索が可能になりました。

< イベント開催 >

1. 「全国映画資料アーカイブサミット2025」

映画資料の保存・活用等に関する様々な事例報告やセミナー等を開催しました。

【日 時】2025年1月24日13:00～17:35 【場 所】ライブ配信(主会場VIPO会議室) 【参加者】218名 【参加費】無料

【プログラム(タイトルと登壇者)】※敬称略

第1部: 報告 令和6年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業の実施概要について／事務局 佐藤友則

第2部: 報告 映画資料ポータルサイト「映画遺産」について／宮本法明(国立映画アーカイブ研究員)、佐藤いつみ(国立映画アーカイブ研究補佐員)

第3部: セミナー デジタルアーカイブ構築における著作権について／五常総合法律事務所 パートナー弁護士 数藤雅彦

第4部: 報告 映画資料展—2023-24年現地報告

- 1.映画資料展—2023-24年現地報告／黛 友明(同館 専門学芸員)
- 2.Afternote 山口市 映画館の歴史(山口情報芸術センター[YCAM])／前原美織(同センター シネマキュレーター)
- 3.世田谷文学館コレクション展「衣裳は語る——映画衣裳デザイナー・柳生悦子の仕事」(世田谷文学館)／瀬川ゆき(同館 学芸員)

第5部: セミナー 「須賀川特撮アーカイブセンター」と特撮資料の保存／三好 寛(特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構[ATAC] 事務局長)

第6部: セミナー 映画資料アーカイブの重要性について／岡田秀則(国立映画アーカイブ主任研究員)

2. 「日本映画史探検!《新東宝／国際放映》と《近代映画協会》の歩み」(展示)

【日 程】2025年2月22日～3月2日 【場 所】調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー 【参加費】無料

【内 容】

令和6年度事業の調査結果を元に、新東宝／国際放映と近代映画協会の歴史を様々な映画資料の展示によって紹介し、またおもちゃ映画ミュージアムと須賀川特撮アーカイブセンターが所蔵する特撮資料や映像機材の展示と、さらに本事業にてデジタル化した神戸映画資料館が所蔵する戦前作品の映画ポスターのデジタル画像(一部)の展示を実施しました。



VIPOインタビュー

2016年からスタートしたVIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、プロジェクト等をテーマにさまざまな方にインタビューを実施。毎年、実施している内閣府の知的財産戦略推進事務局長にお話を伺う「知的財産推進計画」についてや、VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の講演やVIPO独自のセミナー内容を記事化して紹介しています。(掲載先 <https://www.vipo.or.jp/interview/list/>)

2024年4月

創立100周年にむけた「TOHO VISION 2032」とは ～ Entertainment for YOU 世界中のお客様に感動を～

(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成)

松岡宏泰(東宝株式会社 代表取締役社長)

会社創立90周年という節目の2022年に社長就任された松岡宏泰氏。3年におよんだコロナ禍は映画業界に大きな打撃を与えました。そんな中、アニメ事業を東宝の事業の柱の一つとして独立させIPビジネスのグローバル展開を強化する東宝は昨年、創立100周年にむけた「TOHO VISION 2032」を発表しました。「Entertainment for YOU」をあらたなコーポレートスローガンとした東宝が目指す、経営戦略についてお話を伺いました。



2025年1月

内閣府に聞く——「新たなクールジャパン戦略」で再設定されたチャレンジングな目標と、基幹産業として位置づけられたコンテンツ産業に求められるもの

奈須野 太(内閣府 知的財産戦略推進事務局長)

2024年6月に、内閣府の知的財産戦略本部にて「知的財産推進計画2024」と「新たなクールジャパン戦略」が発表されました。国としての目標が再設定され、コンテンツジャンル毎の現状分析、方向性、施策を示されたことで、コンテンツ産業は新たなステージに進みました。今回のインタビューでは、コンテンツ産業において、設定された目標を達成するためのポイント、海外へのビジネス展開力を高めるための方策や人材育成についてなど、内閣府の知的財産戦略推進事務局長の奈須野 太氏にお話を伺いました。



2024年5月

〈「基盤斬り」公開記念!〉映像制作者必読! 脚本家・加藤正人が語る「脚本は設計図。徹底的な取材をもとにオリジナル脚本を書く脚本家が必要!」

〈前編〉

「映像的な表現は直接的に意味を語らない」

〈後編〉「その時代を生きている現代的なキャラクターやテーマで映画を創らないと今の人にはアピールできない」

加藤正人(脚本家)

原作ものが多い日本映画では、オリジナルの脚本を書く・書ける脚本家が少なくなっています。生成AIの発達や配信番組の増加など映画を取り巻く環境が変わってくる中で、今、脚本家やプロデューサー、監督、映像制作者に求められることは何か? 日本は今後、どのような映画を制作していけばいいのか? VIPO「映画脚本読み込み講座」[映画の企画脚本講座]の講師を務める脚本家・加藤正人先生にお伺いしました。



2025年3月

社会に対して価値を提供しつづける。「クリエイティブでありたい」という想いにかけたビクターエンタテインメントが2030年に目指す姿とは—

(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成)

植田勝教(ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役)

コロナ禍にみまわれた2020～2022年の約3年間に、ライブ・エンタメ市場は大きな打撃をうけレコード会社も一様に苦境に立たされましたが、2023年、音楽市場は過去最高の成長率と売上を記録しました。その中で「人の心を豊かに」「夢や感動を創造する」ことをモットーにチャレンジしつづけるビクターエンタテインメントの植田社長にお越しいたき、2030年までに目指す姿と植田社長の仕事への向き合い方についてお話しいただきました。



2024年12月

脈々と「作品を作り続ける」東映がマルチユースというビジネスモデルにたどり着いた背景とこれからのビジョン

(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成)

吉村文雄(東映株式会社 代表取締役社長)

2033年に向けて、中長期ビジョンを発表した東映グループ。このビジョンでは世界を魅了する「ものがたり」を日本から世界へ届けるための海外展開施策や未来へ持続的に続く成長のためのチャレンジを掲げています。新しいことに常にチャレンジしてきた東映のビジネスモデルと未来へ向けた経営施策を東映株式会社代表取締役社長吉村文雄氏に語っていただきました。

